

化学工学会関東地区学生会 活動報告書(11月)			
企画名	The 1st SCEJ Tokyo Young Researchers Workshop 『化学工学系学生の疑問に答える』 ～必要とされる化学工学系技術者像と、 そうなるために必要な能力～		
幹事大学	東京工業大学		
目的	産業界と学生双方の理解を深めるために、議題を与え相互意見交換		
日時	平成 20 年 11 月 15 日(土) 13:00～18:15 18:30～20:30		
会費	企業アドバイザー:10,000 円(セミナー参加費として) 学生:2,000 円(懇親会費として)		
参加人数	慶應大: 7人	千葉工大: 2人	東工大: 16人
	東農工大: 16人	日大: 8人	早稲田大: 7人
	神工大: 2人	工学院大: 2人	横国大: 2人
企画内容 (前半)	企画名	ワークショップ	
	時間	13:00～18:15	場所 東京工業大学大岡山キャンパス西9号館
	産業界に対する理解を深め、化学工学系学生が今後目指すべき化学工学系技術者像と、そうなるために必要な能力について議論し、最後にグループごとに議論の成果を発表した。学生が企業の方と接する機会は就職活動を除けば非常に少ないため、日ごろ抱えている疑問について積極的に質問し、多くの情報を得ることができた。また、企業アドバイザーは現在の化学工学系学生の現状について理解を深めることができた。		
企画内容 (後半)	企画名	懇親会	
	時間	18:30～20:30	場所 東京工業大学大岡山キャンパス第一食堂
	立食懇親会を行った。		
会費合計	458,000 円	費用合計	446,036 円

費用内訳	160,000 円 (企業オブザーバー参加費) 100,000 円 (学生参加費) 50,000 円 (広告料) 30,000 円 (化工誌掲載料) 但し, 収入内訳 化工誌掲載料は未収 (平成 21 年 6 月以降)
補助金	68,000 円 (学生会前年度繰り越し金) 50,000 円 (化学工学会関東支部)
補助金 使用内訳	29,626 円 (部屋代) 118,650 円 (要旨印刷代) 560 円 (請求書切手代) 210,000 円 (懇親会費) 14,900 円 (雑費) 69,300 円 (報告書印刷代) 3,000 円 (報告書郵送代) 但し, 支出内訳 報告書印刷代, 報告書郵送代は平成 21 年 3 月中旬に決定
反省点	<ul style="list-style-type: none"> ・時間配分にゆとりがなかった. ・イメージシミュレーションが悪かった. ・収支計算を事前にしっかりと計算しておくべきだった.
他大からの 感想	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね好印象が得られた. (別紙報告書参照) ・時間配分や企業概状説明会の不要など ・議題の曖昧さ ・ ・ ・ ・
備考	活動詳細概要は別紙要旨集および報告書を参照 本企画は, 化学工学誌編集委員と協賛 化学工学誌 (平成 21 年 6 月号) に掲載予定